党大会直前
1996.8.15

党役員会にて

7人委員会

(提携方針
候補由紀夫
海江田万里
赤松広隆
大畠章宏
中野寛成
枝野幸男)

9.17 〈枝野・菅 vs 鳩山・羽田〉

2人代表

菅直人 ― 政党主義者
(鳩山 ― 愛のない政党主義者

(鳩山・菅 が注目をあびていいのか。これも大会

これを乗りこえる

社会党から (31+4)=35人
さきがけ (14+1)=15人
自由リーベン 5人
新進党 1人 (鳩山邦夫)
無所属 1人 (江田五月)
旧民社 3人

(大きかった力)
a力

赤松収 (自治労出1994秋から)

赤松収 ― 政治政策
秋元祐人 ― (党役員・スタッフ)

この2人の果たした役割は大きかった
赤松・秋元は立党民主の立ち上げから力を発揮した

(役員人事)

1996. 9.10　菅直人

（民主党への結集）新党設立準備会

菅直人が第1回

↓

9.12. 立ち上げ

1996 9.17

民主党設立委員会　39人で出発

衆35　　北海道は全員

参4

前原大島、小林守、石井紘基、鈴木宗男、

永井柳太郎、石井一

九州、小沢、七十七、亀井、牧野、今田

山花、海江田、九州3人

設立準備委員会

仙谷、大島、海江田、横路、松田党代

中野正志、石井大志、前田佐竹、千葉

1996.9.28.　結党大会

1998　新民主党　民政党、新党友愛、民改連

民主改革連合

1998～1998

2人代表　菅の口民的人気

○ 自社連政权の評価

菅 → 拉体政权 厚生大臣

三党連立のうち出来ていたことから

旧社さ的な立場

○ さきがけ、社民の参加

拉致 旧社さ、

○ 政治改革一致

社さ連立

さきがけの江田レルギー

旧社さ政権 1996.3.30

旧社さ解消 1996.9.18

拉致主張

党内手続きの透明性
行政改革の具体化

／ 社会主義者